

令和元年度 小学校教科用図書調査研究報告書

| | | |
|------|-------|----------|
| 国語 | ----- | 1 頁 |
| 書写 | ----- | 2 頁 |
| 社会 | ----- | 3 頁～ 4 頁 |
| 地図 | ----- | 5 頁 |
| 算数 | ----- | 6 頁～ 7 頁 |
| 理科 | ----- | 8 頁～ 9 頁 |
| 生活 | ----- | 10頁～ 11頁 |
| 音楽 | ----- | 12頁 |
| 図画工作 | ----- | 13頁 |
| 家庭 | ----- | 14頁 |
| 保健体育 | ----- | 15頁～ 16頁 |
| 英語 | ----- | 17頁～ 18頁 |
| 道徳 | ----- | 19頁～ 20頁 |

丹後教科用図書採択地区協議会

教科用図書調査研究報告書(道徳を除く)

| | | | |
|--------|----|----|----|
| 教科・種目名 | 国語 | 種類 | 4種 |
|--------|----|----|----|

(1)枚中(1)枚

| 採択基準 | 基本観点 | 東京書籍(2・東書) | 学校図書(11・学図) | 教育出版(17・教出) | 光村図書出版(38・光村) | |
|--------------------------------|-------------------|---|---|--|--|---|
| | | 国語 101・102・201・202・301・302・401・402・501・502・601・602 | 国語 103・104・203・204・303・304・403・404・503・504・603・604 | 国語 105・106・205・206・305・306・405・406・505・506・605・606 | 国語 107・108・207・208・307・308・407・408・507・508・607・608 | |
| 1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。 | (1) 全体としての特徴や創意工夫 | ・本編と付録によって構成され、本編においてすべての指導事項を扱っている。 ・巻頭には、1年間で身に付けたい「言葉の力」の一覧と「学習の進め方」が紹介されている。 ・国語科で育む資質・能力を軸に、「言葉の力」を大切に作成、編集している。 ・1年では、幼児期の経験や言葉の学びを大切に、スタートカリキュラムに無理なく対応できるよう工夫している。 | ・本編と付録によって構成され、本編においてすべての指導事項を扱っている。 ・学習の全ての場面で「言葉の力」の育成が紹介されている。 ・付けたい力と学び方を明確にした探究的な言語活動を重視している。 ・1年では、幼児期の遊びや豊かな経験を生かした言葉への関心や気付きに結び付けられるよう工夫している。 | ・本編と付録によって構成され、本編においてすべての指導事項を扱っている。 ・巻末の付録を充実させ、読書や漢字、言葉の力に関する項目が紹介されている。 ・各学習過程を4または5の基本ステップで統一することで学習の見通しを持ちやすくしている。 ・1年では、スタートカリキュラムを意識した教材を配置し、工夫している。 | ・本編と付録によって構成され、本編においてすべての指導事項を扱っている。 ・学習の全ての場面で「言葉の力」の育成が紹介される内容も充実している。 ・児童が見通しを持って学習活動に取り組んでいけるよう、各単元で学ぶ目的や内容、過程、方法、例等が明示されている。 ・1年では、幼児期の接続を配慮し、生活と学習を結び付けながら、楽しく学べるよう教材を工夫している。 | |
| | | (1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮 | ・各学年「覚えているかな」コーナーでは、既習事項を振り返り、学習内容の確実な理解と定着を図れるよう工夫している。 ・どの単元も学習過程を明確にし、課題がある言語事項を抽出し、効果的に知識・技能を身に付けるよう教材が設けられている。 ・ことばの特徴や文法に関する学習内容の定着や深化を図る教材をスパイラル的に配列している。 | ・各学年「国語のカギ」のコーナーを設けることで、学習内容の確実な理解と定着を図れるよう工夫している。 ・どの単元も学習過程を明確にし、効率的に知識・技能を身に付けるよう学習内容を工夫している。 ・ことばの特徴や文法に関する学習内容の定着や深化を図る教材をスパイラル的に配列している。 | ・各学年「ここが大事」のコーナーを設けることで、学習内容を系統的・重点的に学べるよう工夫している。 ・どの単元も学習過程を明確にし、知識・技能が効率よく学べるよう工夫している。 ・ことばの特徴や文法に関する学習内容の定着や深化を図る教材をスパイラル的に配列している。 | ・各学年「これまでの学習」のコーナーを設けることで、目的意識を持ったスパイラルな学びとなり、学習内容の確実な理解と定着を図れるよう工夫している。 ・どの単元も学習過程を明確にし、付けたい力が明確に示され、知識・技能が効率よく学べるよう構成され工夫している。 ・ことばの特徴や文法に関する学習内容の定着や深化を図る教材をスパイラル的・反復的に配列している。 |
| | | (2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 | ・付けたい力を焦点化し、明確にすることで、学習活動の目的や方法を意識しながら学習していけるよう工夫している。 ・考え深め、表現するための「吹き出し」が適切に示され、多様な言語活動の充実が図れるようにしている。 ・「読むこと」の読解では、学習過程がスモールステップで示され、読む視点が明確化されている。 | ・付けたい力を焦点化し、明確にすることで、学習活動の目的や方法を意識しながら学習していけるよう工夫している。 ・考え深め、表現するための思考ツールが適切に示され、多様な言語活動の充実が図れるようにしている。 ・「読むこと」の読解では、読んで付いた力を書いたり話したりする言語活動と関連付けて取り扱っている。 | ・付けたい力を焦点化し、明確にすることで、学習活動の目的や方法を意識しながら学習していけるよう工夫している。 ・考え深め、表現するための思考ツールが適切に示され、多様な言語活動の充実が図れるようにしている。 ・「読むこと」の読解では、読んで付いた力を書いたり話したりする言語活動と関連付けて取り扱っている。 | ・付けたい力を焦点化し、明確にすることで、学習活動の目的や方法を意識しながら、それぞれの付けたい力が身に付けられ学習していけるよう工夫している。 ・考え深め、表現するための「コラム」が適切に示され、多様な言語活動の充実が、人間関係づくりと結び付けられるよう工夫している。 ・「読むこと」の読解では、表やマップ等を掲載し、思考を整理し、まとめることができるようにしている。読解するための手助けともなっている。 |
| | | (3) 児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 | ・各単元を通して学習過程や手順、学び方を明示し、見通しを持って学習に取り組めるように配慮している。 ・文章と対話する良さが実感できるよう、「対話」に対する小単元が設定されている。 ・「言葉の力」として、「話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと」各領域での学習事項をまとめ、全学年との系統性を大切に捉えている。また、学習用語を整理している。 | ・各単元を通して学習過程や手順、学び方を明示し、見通しを持って学習に取り組めるように配慮している。 ・文章と対話する良さが実感できるよう、「対話」に対する「問い」が工夫され、文章を対話して読んでいけるよう設定されている。 ・「国語のカギ」として、「話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと」各領域での学習事項をまとめている。また、学習用語を整理している。 | ・各単元を通して学習過程や手順、学び方を明示し、見通しを持って学習に取り組めるように配慮している。 ・文章と対話する良さが実感できるよう、「対話モデル」が設定されている。 ・「ここが大事」として、「話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと」各領域での学習事項をまとめている。また、学習用語を整理している。 | ・各単元を通して学習過程や手順、学び方を明示し、見通しを持って学習に取り組めるように配慮している。 ・文章と対話する良さが実感できるよう、「イラスト」と「話例」が示され、配慮されている。 ・「たいせつなまとめ」として、「話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと」各領域での学習事項をまとめ、全学年との系統的・反復的に学習できるよう大切に扱っている。また、学習用語を整理している。 |
| | | (4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い | ・学んだことを深化・発展させた学習ができるように資料を付録として掲載している。 ・漢字のまとめ一覧表では、小学校では習わない読み方を記し、学びを広げる工夫をしている。 | ・学んだことを深化・発展させた学習ができるように資料を付録として掲載している。 ・漢字のまとめ一覧表では、小学校では習わない読み方を記し、学びを広げる工夫をしている。 | ・学んだことを深化・発展させた学習ができるように資料を付録として掲載している。 ・漢字のまとめ一覧表では、小学校では習わない読み方を記し、学びを広げる工夫をしている。 | ・学んだことを深化・発展させた学習ができるように資料を付録として掲載している。 ・漢字のまとめ一覧表では、小学校では習わない読み方を記し、学びを広げる工夫をしている。 |
| 3 使用上の便宜が工夫されていること。 | (1) 表記・表現の工夫 | ・他の教科・道徳・総合的な学習の時間等と充分に関連するように物語文、説明文等を選定し、繋がりがあある読書教材が選列されている。 ・1年生上巻を除く巻末の付録で、既習の「言葉の力」を設け、他の教科や総合的な学習の時間に生かせるよう整理されている。 | ・他の教科・道徳・総合的な学習の時間等と充分に関連するように物語文、説明文等を選定し、繋がりがあある読書教材が選列されている。 ・2年生以上の上巻の冒頭単元「言葉でつながる」は話合い活動を取り入れ、クラス作りにつながる内容である。 | ・他の教科・道徳・総合的な学習の時間等と充分に関連するように物語文、説明文等を選定し、繋がりがあある読書教材が選列されている。 ・各学年、巻末の付録に他の教科や総合的な学習の時間に関連するよう本が紹介されている。 | ・他の教科・道徳・総合的な学習の時間等と充分に関連するように物語文、説明文等を選定し、繋がりがあある読書教材が選列されている。 ・2年生以上の上巻の冒頭単元「言葉の準備運動」は言語活動にゲーム的要素を取り入れ友達作り、クラス作りにもつながる内容である。 | |
| | | ・ユニバーサルデザインの観点から、配色デザイン等について、色覚の多様性について配慮している。 ・5行ごとの行数字、1行ごとのドットを示し、特別支援教育に配慮している。 | ・ユニバーサルデザインの観点から、色覚の個人差を問わず、できる限り多くの人に見やすいよう配慮している。 ・判読しやすいよう、文字の大きさ、書体、囲みや罫線による地の分との区別、色づかいなどのレイアウトを工夫している。 | ・ユニバーサルデザインに配慮した新しい教科書体を使用している。また、点字を取り上げている箇所もある。 ・上下巻、分冊にすることで、1冊あたりの重量を軽くしている。 | ・ユニバーサルデザイン化へ向けて、書き文字に近い教科書体を使用している。 ・文字と写真、写真と写真の区別ができるよう、罫線を入れるなど配慮している。 | |

教科用図書調査研究報告書(道徳を除く)

| | | | |
|--------|----|----|----|
| 教科・種目名 | 書写 | 種類 | 5種 |
|--------|----|----|----|

(1)枚中(1)枚

| 採択基準 | 基本観点 | 東京書籍(2・東書) | 学校図書(11・学図) | 教育出版(17・教出) | 光村図書出版(38・光村) | 日本文教出版(116・日文) |
|--------------------------------|--------------------------------|--|---|--|--|--|
| | | 書写101・201・301・401・501・601 | 書写102・202・302・402・502・602 | 書写103・203・303・403・503・603 | 書写104・204・304・404・504・604 | 書写105・205・305・405・505・605 |
| 1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。 | (1) 全体としての特徴や創意工夫 | <ul style="list-style-type: none"> 各単元に通じる学習の進め方を最初に列挙し取り上げている。 毛筆、書き初め課題(どの学年とも)、これまでの学習課題のまとめとして、すべての技法が含まれ、漢字と仮名がバランスよく配列し工夫している。 6年では、1～6年で学習した用語や字形の特徴等、総復習として取り上げ、穴埋め問題も掲載している。 | <ul style="list-style-type: none"> 各単元に通じる学習の進め方を最初に列挙し、試し書きを例に挙げて、違いを取り上げている。 毛筆、書き初め課題(どの学年とも)、各学年で身に付けたい技法等、漢字と仮名がバランスよく配列され工夫している。また、硬筆のページが豊富で、充実している。 小筆の課題「文字の大きさと配列」について、小筆に慣れ親しむよう配慮している。 | <ul style="list-style-type: none"> 各単元に通じる学習の進め方を最初に列挙し取り上げている。 毛筆、書き初め課題(どの学年とも)、文字の形等、漢字と仮名がバランスよく配列され工夫している。 小筆の課題「文字の大きさと配列、点画のつながり」について、小筆に慣れ親しむよう配慮している。また、発展的に、短冊、色紙、年賀状等、学習したことを生活に生かせるよう配慮している。 | <ul style="list-style-type: none"> 各単元に通じる学習の進め方を最初に列挙し取り上げている。 毛筆、書き初め課題(どの学年とも)、文字の形等、漢字と仮名がバランスよく配列され余白等工夫している。 小筆の課題「用紙に合った文字の大きさと配列」について、小筆に慣れ親しむよう配慮している。また、発展的に、短冊にフェルトペンや筆ペンで書くことも試みている。 | <ul style="list-style-type: none"> 各単元に通じる学習の進め方を最初に列挙し取り上げている。 最初、書写学習の意義を取り上げ、書写を学ぶ大切さを取り上げている。 毛筆、書き初め課題(どの学年とも)、文字の形等、漢字と仮名がバランスよく配列され工夫している。 小筆の課題「文字の大きさと余白」について、小筆に慣れ親しむよう配慮している。 |
| 2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。 | (1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 学習の道具(筆・硯)の片づけ方や筆の持ち方、姿勢等、写真で分かりやすく示され、視覚的に工夫されている。 毛筆での点画等の書き方を墨・朱墨を交えながら、穂先が通る所を視覚的に取り上げている。 書きやすい姿勢として、安易な言葉(べたん・びん・とん)で児童に分かりやすく示している。 目標に沿った自己評価欄「振り返って話そう」を設け、学習事項の確認ができるようにしている。 第1・2学年の運筆指導に水筆を取り上げ、両学年において水書用紙を付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> 文房四宝について、写真や用語を用い、丁寧に示されている。 筆の名称(じく・こし・はら・穂先)について取り上げている。また、筆のおろし方まで、写真付きで丁寧に示されている。 各学年、最初の単元では、全学年で学習したことを確かめて書こう(硬筆)を配置し、復習として取り上げている。 目標に沿った自己評価欄「ふりかえろう」を設け、学習事項の確認ができるようにしている。 第1・2学年の運筆指導に水筆を取り上げているが水書用紙は付けていない。 | <ul style="list-style-type: none"> 使用する道具(墨・硯・紙)ができるまでの工程が、図示され分かりやすく説明が加えられている。 点画の種類(横画・たて画・折れ・曲がり・右払い・右上払い・左払い・そり・点)が、用語と実際の筆使いが、わかりやすく示されている。 毛筆での点画等の書き方を墨・朱墨を交えながら、穂先が通る所を視覚的に取り上げている。 第1・2学年の運筆指導に水筆を取り上げ、第1学年において水書用紙を付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> 用紙に合った文字の大きさが、分かりやすいイラストを交え、図示されている。 1～6年生までに学習したことを、日常の中で生かせるよう課題や構成が充実している。 書きやすい姿勢として、安易な言葉(べたん・びん・ぐう)児童に分かりやすく示している。 目標に沿った自己評価欄「ふりかえろう」を設け学習事項の確認ができるようにしている。 第1・2学年の運筆指導に水筆を取り上げ、第1学年において水書用紙を付けている。 | <ul style="list-style-type: none"> 前学年までで学習した「字形を整えるポイント」①点画の組み立て方 ②部分の組み立て方 ③筆順等 文字の形が示されている。 使用する道具(筆)ができるまでの工程が、図示され分かりやすく説明が加えられている。 書く場面や目的を考えて、筆記具の特徴を取り上げている。 目標に沿った自己評価欄「できたかな」を設け、学習事項の確認ができるようにしている。 第1・2学年の運筆指導に水筆を取り上げ、両学年において水書用紙を付けている。 |
| | (2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方(①見つけよう ②確かめよう ③生かそう ④話し合おう ⑤広げよう)を取り上げ、思考力、判断力・表現力を生かした学習展開を図っている。 「みつけよう」というマークで調べたり考えたりする場面を設けている。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方(①確かめて書こう ②考えて書こう ③生かして書こう)を取り上げ、比較作例を盛り込み、思考力、判断力を生かした学習展開を図っている。 いろいろな筆記用具の特性が道具と文字で比較されている。 失敗例を提示することで、文字の形などについて考える場面を設けている。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方(①見つける・比べる ②確かめる・書く ③ふり返る・伝え合う ④広げる)を取り上げ、思考力、判断力・表現力を生かした学習展開を図っている。 筆記用具の特徴(線の太さ・色・用紙等)が目的に応じて使用する工夫が図示され、取り上げられている。 失敗例を提示することで、文字の形などについて考える場面を設けている。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方(①考えよう ②確かめよう ③生かそう)を取り上げ、思考力、判断力を生かした学習展開を図っている。 手書き文字と活字文字を示し、良さや違いを考えさせる配慮がしてある。 失敗例を提示することで、文字の形などについて考える場面を設けている。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方(①試し書きをする ②考える ③確かめる ④まとめ書きをする ⑤いかす ⑥ふり返る)を取り上げ、思考力、判断力を生かした学習展開を図っている。 失敗例を提示することで、文字の配列などについて考える場面を設けている。 |
| | (3) 児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 日本の文字の歴史として、文字の変遷(篆書・隸書・草書・行書・楷書)を示し、平仮名、片仮名ができるまでを取り上げている。 「振り返って話そう」をはじめ、話し合い活動を随所に取り入れ、学んだことを言葉で整理し、生きて働く知識・技能の習得を図っている。 学習した書写力の活用場面として、「ノート」「書きぞめ」「名前」「原稿用紙や手紙」「年賀状やはがき」を取り入れている。 | <ul style="list-style-type: none"> 消しゴムはんこの作成は、書いた証と共に格調を生むものとして取り上げている。 他の教科書以上に、書き込み欄が充実している。 「確かめて書こう」では、キャラクター達のセリフの中にヒントや着眼点を示すことで、児童が主体的に課題を発見し、解決に取り組めるよう配慮している。 学習した書写力の活用場面として、「ノート」「書きぞめ」「はがき」「手紙」「掲示物や看板」「メモ」を取り入れている。 | <ul style="list-style-type: none"> 文字の世界と題し、文字の変遷(篆書・隸書・行草書・楷書)を示し、平仮名、片仮名ができるまでを取り上げている。 各学年の最終単元は、既習内容をもとに自ら課題を発見して解決する教材を設定している。 学習した書写力の活用場面として、「ノート」「書きぞめ」「はがき」「手紙」「掲示物や看板」「メモ」を取り入れている。 | <ul style="list-style-type: none"> 文字の旅と題し、文字の変遷(篆書・隸書・行草書・楷書)を示し、平仮名、片仮名ができるまでを取り上げている。 漢字問題(昔の漢字「篆書」)を示し、「さんずい」偏が川や、水につながる様子を取り上げている。 6年間身に付けた技法を生かし、創作活動のページが充実し、工夫している。 学習した書写力の活用場面として、「ノート」「書きぞめ」「はがき」「原稿用紙や手紙」「新聞」を取り入れている。 | <ul style="list-style-type: none"> 文字の変遷(篆書・隸書・行草書・楷書)を示し、平仮名、片仮名ができるまでを取り上げている。 世界で使われていた漢字以外の文字が写真で示されている。 消しゴムはんこの作成は、書いた証と共に格調を生むものとして取り上げている。 学習した書写力の活用場面として、「ノート」「書きぞめ」「年賀状」「はがき」「手紙」「新聞」「メモ」を取り入れている。 |
| | (4) 学習指導要領に示していない内容の取扱 | <ul style="list-style-type: none"> 漢字の成り立ちや書写で使う道具の作り方等を紹介している。 | <ul style="list-style-type: none"> 6年の発展学習として、小学校では学習しない「行書」を取り上げ、中学校での学習を見通し、早書きの有用性を取り上げている。 | <ul style="list-style-type: none"> 6年の発展学習として、小学校では学習しない「行書」を取り上げ、速く書けて、やわらかく書き方として、楷書と比較しながら取り上げている。 3年生の学習への見通しと関心が持てるよう巻末に毛筆についての内容を発展的に取り上げている。 | <ul style="list-style-type: none"> 6年の発展学習として、楷書と行書の違いが示し、行書の特徴を取り上げている。 巻末に「はってん」として、毛筆の学習が次年度から始まることが予告され、筆の持ち方や線の特徴が紹介されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 書く速さの違いに触れて、中学校で学習する「行書」の良さについて、5年の発展学習で取り上げている。6年では、硬筆で取り上げている。 |
| | (5) 他の教科等との関連 | <ul style="list-style-type: none"> 平仮名のもとになった漢字が50音すべて列挙され、平仮名ができた過程がよくわかり配慮されている。 生活に広げようでは、硬筆で、漢文・漢詩を書き、古文の言い回しに慣れ親しめるよう配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 国語との関連で、硬筆教材に著名な文学作品の一説などを積極的に取り入れている。 硬筆教材に社会「都道府県名」が取り上げられ、関連が図られている。 | <ul style="list-style-type: none"> 漢字の成り立ち、筆順のきまり等、漢字の意味や筆順どおり書く良さ等、取り上げられている。 硬筆教材に社会「都道府県名」が、国語「短歌」取り上げられ、関連が図られている。 | <ul style="list-style-type: none"> 理科のノートの書き方を取り上げ、文字の配列に気を付けて書けるように配慮されている。 | <ul style="list-style-type: none"> 平仮名のもとになった漢字が50音すべて列挙され、平仮名ができた過程が配慮されている。 4年生に新しく追加された漢字を用いて、社会の「都道府県名」を取り上げている。 |
| 3 使用上の便宜が工夫されていること。 | (1) 表記・表現の工夫 | <ul style="list-style-type: none"> どのページも見やすく、課題の文字が目によくようスッキリとした表記となっている。 鉛筆の持ち方、右手・左手どちらの持ち方も写真掲載され、配慮している。 指でなぞり書きができる教材がカラーで、太く大きめに記されている。 再生紙、植物油インキを使用している。 第3学年以上の漢字表、ひらがな表に毛筆書体を使用。 | <ul style="list-style-type: none"> すべての単元で、QRコードが掲載され、情報機器の活用が図れるよう工夫している。 ユニバーサルデザインの観点に立ち、色使いやフォント、レイアウト等に配慮している。 環境に配慮した紙と、植物油インキを使用している。 第3学年以上の漢字表に毛筆書体硬筆書体を併記。 | <ul style="list-style-type: none"> 見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを採用している。 指でなぞり書きができる教材が大きめに示されている。 環境にやさしい再生紙、植物油インキを使用している。 QRコードを載せ、学習に役立つ情報をウェブサイトで見れるよう工夫している。 硬筆書体の漢字表を掲載。 | <ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインや特別支援教育の観点から、全ページに専門家による校閲を行っている。 指でなぞり書きができる教材がカラーで大きめに示されている。 環境に配慮した紙、植物油インキを使用している。 用具や書くときの姿勢では、QRコードが掲載され、情報機器の活用が図れるよう工夫している。 水で書ける「水書シート」が教科書についている。 第3学年以上の漢字表に毛筆書体硬筆書体を併記。 | <ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインに配慮している。 指でなぞり書きができる教材がくっきりと大きめに示されている。 植物油インキと再生紙を使用している。 1・2年生では、教科書から取り外して使用できる「水書きシート」がついている。 第1学年の漢字表に分解筆順総画数を入れ第3・4学年のひらがな表に毛筆書体を使用。 |